

山田町の紹介

いわてけんしもへいぐんやまだまち

岩手県下閉伊郡山田町

岩手県下閉伊郡山田町はリアス式海岸で有名な景勝地「三陸海岸（三陸復興国立公園）」のほぼ中央に位置し、優美な自然環境に囲まれています。船越半島と重茂半島に抱かれた山田湾は内海で波も穏やかなのが特徴で、その豊かな海は牡蠣・帆立・ホヤ・ウニ・鮑・ワカメ・鮭などの漁場として有名。また椎茸は全国から高い評価を得ており、松茸も国内有数の産地で品質が良く香りが強いのが特徴です。



東日本大震災と山田町の被害状況

東日本大震災 概要

(気象庁資料より作成)

平成 23 年 3 月 11 日 (金)
14 時 46 分

震源 三陸沖 深さ 24km
規模 マグニチュード 9.0

同日 14 時 49 分
津波警報 (大津波) 発表

津波の観測値 (津波観測点)

・えりも町庶野	最大波	15:44	3.5m
・宮古	最大波	15:26	8.5m 以上
・大船渡	最大波	15:18	8.0m 以上
・釜石	最大波	15:21	4.2m 以上
・石巻市鮎川	最大波	15:26	8.6m 以上
・相馬	最大波	15:51	9.3m 以上
・大洗	最大波	16:52	4.0m

全国の被害状況

(平成 25 年 9 月 24 日 内閣府資料より作成)

死者	15,883 名	全壊	126,578 戸
行方不明者	2,654 名	半壊	272,305 戸
負傷者	6,146 名	一部損壊	742,664 戸

全国の避難者数 289,611 名

※避難所の他、親族、知人宅や公営住宅、仮設住宅への入居者も含む

山田町の被害状況

(平成 25 年 8 月 12 日 山田町総務課危機管理室資料より作成)

死者	807 名	全壊	2,762 戸
行方不明者	2 名	大規模半壊	202 戸
応急仮設住宅	1,940 戸	半壊	203 戸
※避難所は平成 23 年 8 月 31 日にて全て閉鎖		一部損壊	202 戸
		※非住家は含まず	

私たちが山田町を支援する理由

ボランティアを行う上で、活動先の地域の方々と信頼関係を構築することが必要不可欠と考え、支援先は1か所に絞り込むことにしました。既に支援に入っている防災 NPO 仲間から情報収集するとともに、

- (1) 首都圏から遠く、ボランティアが集まりにくいと思われた
- (2) 長期の活動に適した無償の宿泊施設を確保できた
- (3) 三重県と似たリアス式海岸の町で、復旧・復興の得がたい教訓を学べると考えられた
- (4) 先遣隊調査により三重から支援できるニーズが見つかったなどの理由から山田町を支援することにしました。



山田町の復興状況 (平成 25 年 10 月 29 日現在)



9月15日、雨中でも開催された山田祭り。たくさんの方が見物に訪れ、祭りを盛り上げました。また被災した大杉神社の本殿が高台に再建されました。



被災した山田町の魚市場が10月10日場所を移し再建されました(写真)。また同じく被災した船越湾漁協の魚市場も9月28日再建されました。



山田町で最初の災害公営住宅(県営・全2棟・72戸)が、平成26年度4月の入居を目指し豊間根地区に建設中です。



かさ上げ区域では住宅基礎の撤去工事が町内のいたる所で進められています。その後、かさ上げ工事が始まる予定です。



高台移転のための造成工事が進行中です。写真は織笠跡浜団地予定地。平成28年度の入居を目指します。



被災した船越小学校は元の場所をかさ上げし、平成26年度の入学に向けて建設中です。

山田町では中心部をはじめ、織笠地区・大浦地区の復興整備事業が着工されています。陸中山田駅周辺はかさ上げ宅地整備を進め、駅前には商業地の再開発を行う予定です。また県立病院・消防署・交番などを造成した高台に移転し、その周辺も住宅地となります。災害公営住宅は全19団地831戸となり、県営547戸・町営284戸をそれぞれ整備し平成29年度まで順次の入居を目指します。海岸では既存の防潮堤の解体が進められており、新たに高さを上げて建設される予定です。